

教育研究グループ「研究結果」報告書

報告日 令和4年 4月 16日

グループ名	教育社会学実践研究会	フリガナ 代表者氏名	アライマサアキ 新井 雅晶
学校名 (代表者)	足立区立北鹿浜小学校 (新井 雅晶)	電話番号	03-3853-3151
研究テーマ	人権カレンダーの活用とその改善－SDGsの視点を踏まえて－		
研究期間	令和3年 5月 1日 から 令和 4年 3月31日 まで		
研究結果 の概要 ※詳細は別 紙により 報告	<p>1 研究の目的と内容</p> <p>本研究会では、昨年度「人権カレンダー2021」を作成し、小中学校並びに教育委員会等に配布をした。作成した「人権カレンダー」について、活用後の感想等を情報として収集し、「人権カレンダー」の改善・充実に役立てるとともに、各月に掲載した内容については、社会情勢等を踏まえ内容の更新・新たな内容を開拓し、次年度の「人権カレンダー」に生かすことを目的とする。</p> <p>2 配布した「人権カレンダー」の作成趣旨と特長について</p> <p>人権教育の重要性をSDGsの視点から再確認するとともに、人権教育を計画的に実施するための指導資料としてカレンダー上に人権問題に関するトピックを提示した。掲載する内容は、指導行う際に、必要性の高いもので、SDGsから言っても重要なトピック2事例を選択した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各月に人権問題（トピック）を当てはめSDGsのロコを対応させた。 ・人権問題（トピック）に関する解説と解決に向けた呼びかけを入れ込んだ。 ・より詳しい情報を得るために、関連諸機関のURLをQRコードで表示した。 ・来月に掲載される人権問題（トピック）を来月の予告として表示した。 <p>3 調査方法とおよその内容について</p> <p>「人権カレンダー」配布した関係者にメールにてアンケートの回答を求めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人権カレンダー」の趣旨について ・内容について ・レイアウトについて ・配布後の活用方法について <p>4 アンケート結果から分かる「人権カレンダー」の活用状況等について</p> <p>人権カレンダーを使用した反応については、全般的に肯定的で、特に回答者全員が良かったと回答した項目は次の3点である。</p> <p>○「SDGsを踏まえた人権教育は、時宜にかなったものである」</p>		

- 「カレンダー内のコメント（トピックの説明）は分かりやすかった」
- 「SDGsがカレンダーとトピックと関連していることは使いやすさにつながった」

さらに、高い肯定率であったのが次になる。

- 「人権教育とSDGsは関わっている考えさせられた」
- 「人権課題は、世界的課題であると考えきっかけとなった」
- 「トピックと説明表示は使いやすさにつながった」

SDGsと関連させた「人権カレンダー」の作成趣旨は賛同を得た結果となった。SDGsを接続させたことで、負のイメージと捉われがちな人権問題について意識を変えるきっかけとなったと考える。また、SDGsと人権問題は密接に関わり合い、共生・共創社会を目指していることを改めて考えさせることにつながった。

- 5 「人権カレンダー」を使用した回答者の「人権」に対する関心について「来年も残したいトピック」を尋ねて、回答者の「人権」に対する関心を調査したところ、次の7つの項目（トピック）は60%の肯定率を示した。
- 例）・児童の権利条約、・男女共同参画週間、・社会を明るくする運動、
・広島・長崎原爆忌、・世界子どもの日、・児童虐待防止推進月間、
・人権の日

しかし、ほとんどのトピック（16項目）については、肯定率31%～60%未満となった。

これらのトピックは肯定率に差はあるものの人権問題としての課題認識や当事者意識においてあまり強くない内容と分類できる。

要因として、次のようなものが考えられる。

- (1) 記念日（トピック）の名称が人権問題として想起しにくい。
（例：憲法記念日・老人の日）
- (2) 良く知られた人権問題であるが当事者意識に課題がある。
（例：世界ハンセン病の日）
- (3) SDGsと関連しているが、身近な人権問題に捉えにくい。
（例：国際識字デー・国際友愛の日）

どの要因でも、記念日の設定した意図や経緯を含め、人権問題として正しく理解していく必要がある。

- 6 「人権カレンダー」の活用について

アンケートから出された活用方法については、およそ次のようなものになる。

- ① 職場（教育委員会・学校・学級など）のカレンダーとして掲示し、職場での話題にした。
- ② 学校だよりの巻頭言に取り上げ、身近な人権問題として呼び掛けた。
- ③ 職場内の朝会や、全校朝会での話題として提示した。
- ④ 人権教育年間指導計画を作成する上で、人権カレンダーのトピックを活用した。
- ⑤ 総合的な学習の時間の課題にしたり、調べ学習の視点として取り上げたりした。

- ⑦ 委員会活動として人権問題を取り上げた際に参考にした。
- ⑧ SDGsの学習（ワークショップ）をした際に、資料として配布した。

活用例を見ると、職場や学校など、人が集まる場所に掲示して、話題にしたり紹介したりする事例が多い。SDGsを合わせて掲示したことで、自分たちができることを考える活動や標語・ポスター作りにつながった事例もある。多くの人の目に触れ、その場の人たちの会話が深まる工夫をすることが、人権問題を身近に感じ、さらに深い学びへつながる手立てとなると考える。

7 「人権カレンダー2022」作成の際の改善点について

(1) 職場で話題にしてもらう工夫

- ・トピックの説明に当該問題への現実を認識する数値や豆知識、当事者としての意識を駆り立てる内容（スローガン・子供の俳句）を入れ込む。
- ・QRコードにはなるべく動画を入れ、授業に使えるようにする。特に、広島・長崎原爆忌では被爆者の体験談が動画で見られるようにする。
- ・掲載したトピックに該当する日付に「人権」のマークを入れ意識づける。

(2) より多くの人に見てもらう工夫

- ・「人権カレンダー」を研究会のHPからダウンロードできるようにし、気軽に送信したり印刷したりできるようにする。

(3) 「人権カレンダー」の感想・意見を回収できる工夫

- ・カレンダー内にアンケート用のQRコードを入れ込む。

(4) 「人権カレンダー」を活用し実践につなげる工夫

- ・アンケートで回収した実践例を「人権カレンダー」の最初に例示する。

(5) SDGsの人権問題をリンクできるようにする工夫

- ・人権問題をSDGsの番号ごとに整理した一覧表を提示する。

(6) 人権問題をSDGsの視点からより多面的に捉える工夫

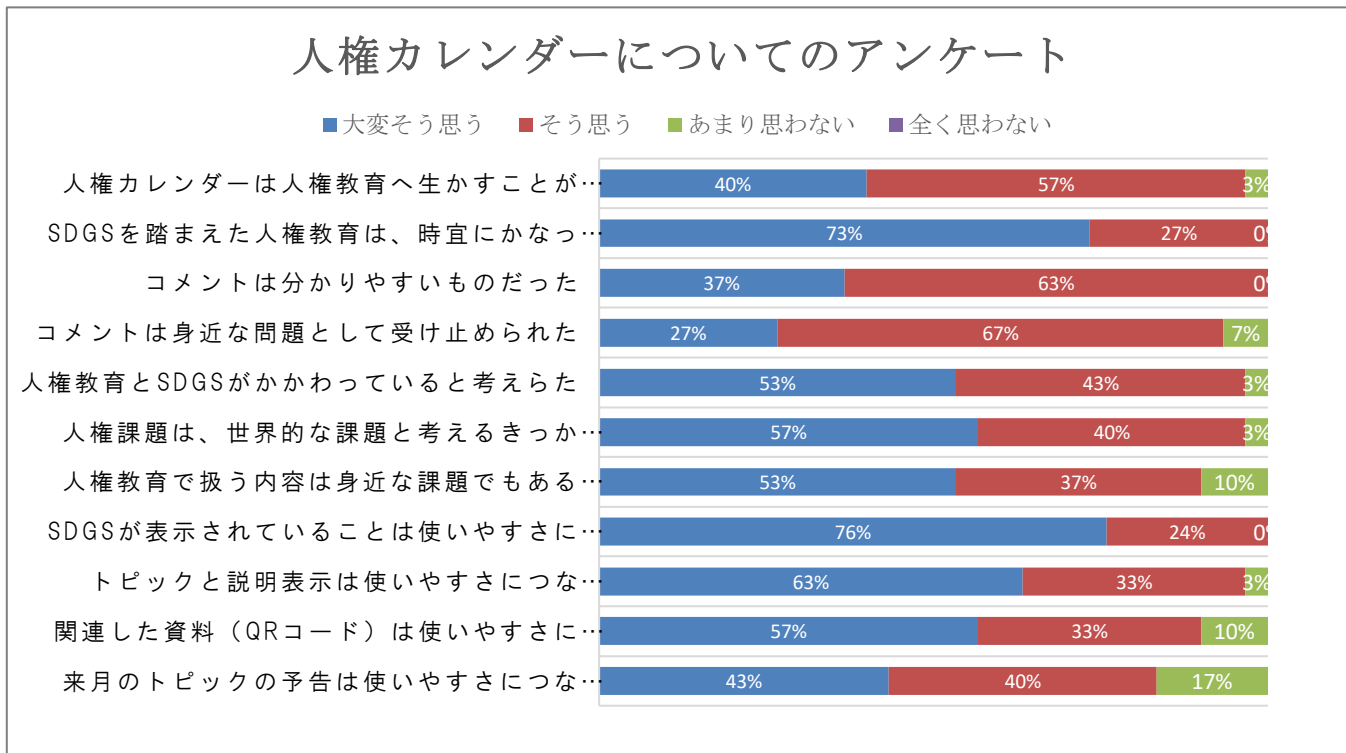
- SDGsの視点として取り上げていない内容を見つけ出し、差し替える。
- ・SDGs 8 「働きがいも経済成長も」：児童労働に反対する世界デー
 - ・SDGs 6 「安全な水とトイレ」：世界トイレ・デー、国連「世界水の日」

その他
特記事項

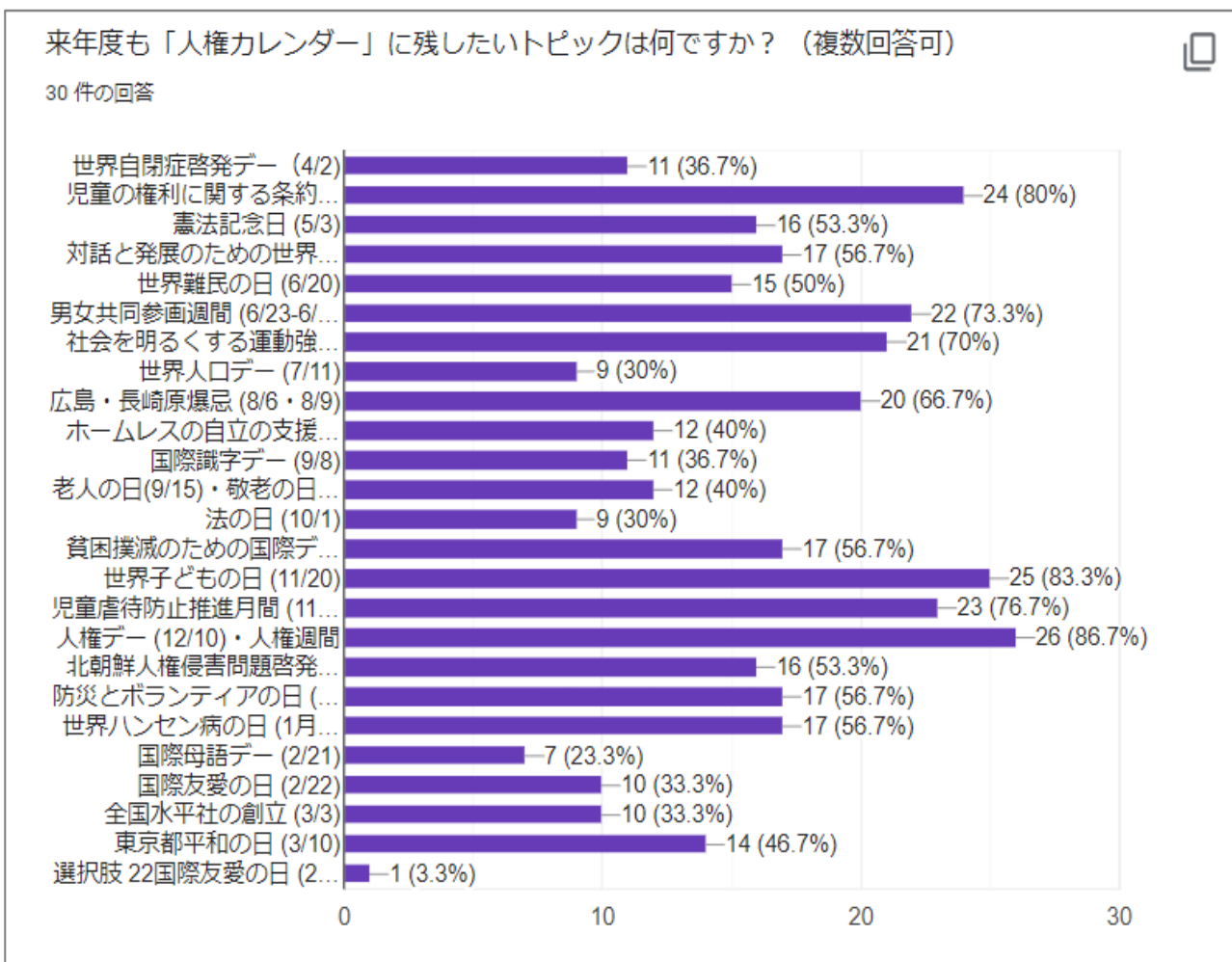
- ・教育研究グループ支援助成金をすべて使って「人権カレンダー2022」の印刷に当て、希望する学校関係者に配布する予定である。

<アンケート結果について>

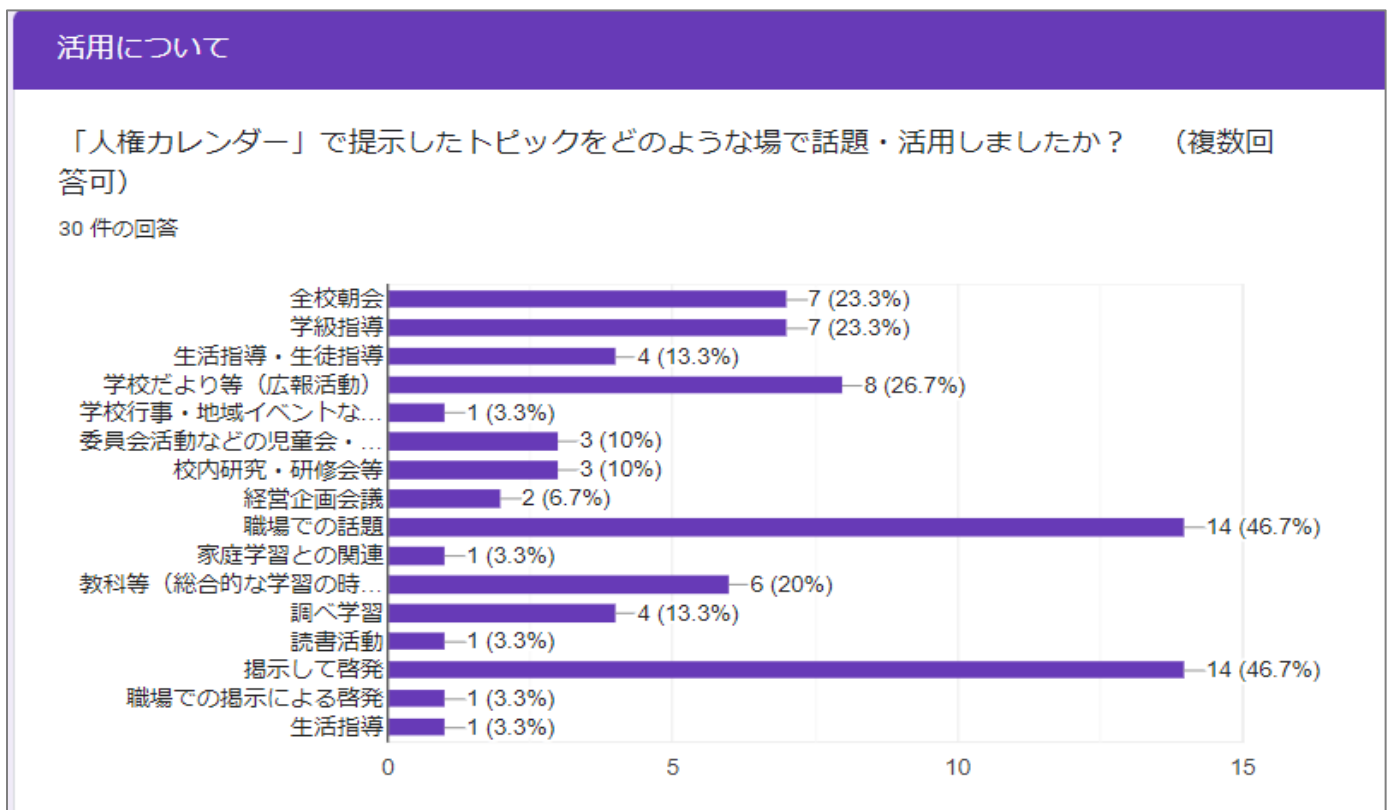
1 人権カレンダーについての反応



2 「人権カレンダー掲載トピック」の希望と人権に対する回答者の関心度について



3 人権カレンダーの活用について



4 活用実践例

「人権カレンダー」を基に何か取組（活動など）を始めましたか？（例：・オレンジリボンを作って配布した。・児童虐待防止の標語やポスターを作って呼び掛けた。）

10件の回答

- 学校だよりで紹介し、児童虐待の心配があったらすぐに通報するように呼び掛けた
- 自分たちに出来そうなことを考えた
- 人権担当部署(首長部局と教育委員会内)へ情報共有
- 標語やポスター作成の呼びかけ
- していない。
- 掲示させていただきました。
- 朝礼での紹介
- 標語、ポスター
- SDGsの学習、グループワークの後に配布し内容を確認しました。

人権カレンダーをより活用するために

この人権カレンダーは、人権問題に関して世界的な視野をもつとともに、身近な問題として捉え、より多くの児童・生徒、学校関係者、地域の方々が当事者意識をもって改善・解決に向けた取組を進めていただくことを目的に作成しました。「21世紀は人権世紀」と言われます。戦争やコロナ禍など不安要素の多い現代社会に、今こそ差別のない共生・共創社会を築いていくことが求められます。「どこかの国、誰かの話」ではなく、自分事として、人権問題について問い直す機会であると捉えていただければ幸いです。

人権カレンダーの特長・工夫点

① SDGsの視点を明示

小中学生の実態を踏まえ、各月の人権教育に関わるトピックの中から、2事例を挙げています。それぞれの事例が、SDGsの17のゴールのうちどれに当てはまるかを示しました。各トピックが、世界中の人が共通に追究している17の課題のどれに当てはまるかを指導することができます。なお、該当する日付には「人権」というマークを付けました。あわせてご活用ください。

② QRコードからの動画等の視聴が可能

各月のトピックには小中学生の指導に役立てられるようにコメントをつけました。この他、関係諸機関のホームページや動画を視聴できるようにしました。特に、広島・長崎原爆忌では被爆者の体験談が動画で見られるようになっています。なお、動画の中には作成当時には閲覧できたものが削除され、閲覧できない場合もあることをご了承ください。

③ 次の月の予告を提示

効果的に人権教育を進めていくためには、時機を逃すことなく計画的に行うことが大切です。「来月の予告」のコーナーを設け、翌月に取り上げるトピックを示しました。学校通信の掲載、学習や学級指導の検討に役立ててください。


人権カレンダーの活用について

この人権カレンダーは、多くの方に活用されています。活用してくださった方の実践例をご紹介します。実践例を参考に、皆さんも自分なりの活用の仕方を工夫してみてください。

- ① 職場（教育委員会・学校・学級など）のカレンダーとして掲示し、職場での話題にした。
- ② 学校だよりの巻頭言に取り上げ、身近な人権問題について考えるように呼び掛けた。
- ③ 職場内の朝会や、全校朝会での話題として提示した。
- ④ 人権教育の年間指導計画を作成する上で、人権カレンダーのトピックを活用した。
- ⑤ 総合的な学習の時間の課題にしたり、調べ学習の視点として取り上げたりした。
- ⑦ 委員会活動として人権問題を取り上げた際に参考にし、具体的な活動につなげた。
- ⑧ SDGsの学習（ワークショップ）をした際に、SDGsが統合的・総合的なものであることを考えさせ、他の話題にも興味・関心をもってもらう資料として配布した。

より多くの方に人権カレンダーを手にしてもらうために

この人権カレンダーは配布したものの以外に、研究会のホームページよりダウンロードすることができます。月ごとに印刷することができるので、各自印刷していただき、多くの方にお渡しください。また、拡大印刷すれば、学校や園の掲示板や玄関等に掲示することも可能です。詳しくは、教育社会学実践研究会ホームページまで。

教育社会学実践研究会 

お声をお寄せください

人権カレンダーの活用例や人権問題への取組、使ってみた感想などをお聞かせください。皆さんの声を来年度の人権カレンダーの修正・改善につなげます。アンケートは右のQRコードが下記のURLをお願いします。

<https://forms.gle/YHCodetK3DxzVqG7>



【教育社会学実践研究会】

・新井郁男 ・新井雅晶 ・神山直子 ・小堂 十 ・駒井 隆治 ・杉本真紀子



語りつづける原爆の子の聲
一六年竹原の村
開たちー

「長崎原爆の日」
被害者代表 岡信
子さん語られるこ
とがなかった76年

8/6・9 広島・長崎原爆忌

昭和20（1945）年、広島・長崎に相次いで原子爆弾が投下された。日本は、唯一の被爆国として、世界の平和と非核化について取り組む責務がある。2021年1月核兵器禁止条約が発効したが、我が国は参加していない。平和の意味を今一度考えたい。



若者や女性が…“コロナ貧困”と闘う
瀬戸大作さん
【news23】

8月 ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法の成立（平成14（2002）年8月）

ホームレスの人数は減少傾向にあったが、コロナ禍で職を失う若者や女性が多く、友人宅やネットカフェで生活する「若者ホームレス」の増加や、「命にかかわる貧困」に陥っているケースも報告され、支援が急がれる。

8

August

来月の予告

9/8 国際識字デー

9/15 老人の日

9/19 敬老の日

SUN	MON	TUE	WED	THU	Fri	Sat
	1 人権	2	3	4	5	6 人権
7	8	9 人権	10	11 山の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
						2022

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「人権の世紀」の実現に向けて

SDGsを踏まえた 2022年度人権カレンダー



「人権カレンダー2022年度」に掲載したトピック

No.	月/日	トピック()内の数字は日付、
ALL	12/10	人権デー(人権週間)
1	10/17	貧困撲滅のための国際デー
3	4/22	「児童の権利に関する条約」批准
	7月	社会を明るくする運動強調月間
	8/7	ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法の成立
	9/15	老人の日・敬老の日
	9/19	敬老の日(第3月曜日)
	1/29	世界ハンセン病の日(1月最終日曜日)
4	5/21	対話と発展のための世界文化多様性デー
	9/8	国際識字デー
	2/21	国際母語デー
5	6/23	男女共同参画週間(～29)
	7/11	世界人ロデー
6	11/19	世界トイレデー
	3/22	国連 世界水の日
8	6/12	児童労働に反対する世界デー
10	4/2	世界自閉症啓発デー
	1/17	防災とボランティアの日
	3/3	全国水平社の創立
11	9/15	老人の日(再掲)
	9/19	敬老の日(第3月曜日)(再掲)
16	4/22	「児童の権利に関する条約」批准(再掲)
	5/3	憲法記念日
	8/6	広島原爆忌
	8/9	長崎原爆忌
	10/1	法の日
	11月	児童虐待防止推進月間
	12/10	北朝鮮人権侵害問題啓発週間(～16)
17	12/10	北朝鮮人権侵害問題啓発週間(～16)(再掲)
	2/22	国際友愛の日

教育社会学実践研究会